

新町の名称候補 7点

(五十音順)

番号	名称候補	ふりがな	選定の理由
1	愛 莊 町	あいしょうちょう	応募数が多い。 合併によって2町が相性よく、仲良く発展することを願い、「愛」はいつくしむ心、「莊」は郷土をあらわし、愛情あふれるおごそかな町で、合併後の町民の幸せと新しい町の発展を願う名称。
2	愛 知 町	えちちょう	応募数が多い。 愛知郡がより発展していくように、また1郡1町をアピールし、いつまでも愛知を残したい思いは強く、みんなに親しみやすく、愛と知恵を生かした町にしたい。依智郡－愛智郡－愛知郡と変革し歴史深い「えち」の名称は地域住民に生きづいている名称。
3	愛 知 川 町	えちがわちょう	応募数が多い。 中山道の「愛知川宿」として、また愛知川の清流と共に栄え、全国的に知られ、親しまれている。愛は、郷土を愛しやすらぎと歴史を与え、知は英知を結集し繁栄を表し、川は住民の連帯感と活力を意味し町の発展を願う名称。
4	愛 知 秦 町	えちはたちょう	応募数が多い。 郷土の開拓と文化発展に寄与し、両町名の由来でもある依智秦氏(えちはた)の名称を取り入れることで、親しみがあり知名度も上がり、その歴史文化を偲びつつ、更なる発展を願う名称。
5	湖 央 町	こおうちょう	2町の地形は、日本のほぼ中心に位置し、また滋賀県の湖東平野のほぼ中央に位置し、日本を代表するマザーレイク琵琶湖を有しており、清新的なイメージができ、更なる発展が期待できる名称。
6	秦 愛 町	しんあいちょう	応募数が多い。 秦荘町の「秦」、愛知川町の「愛」の頭文字を取り入れ、親しみが持て愛する町をイメージでき、みんなが仲良く、親愛を深め信頼のもと、新しい町の発展に期待が持てる名称。
7	秦 莊 町	はたしょうちょう	愛着があり、伝統工芸の秦荘紬があり、依智秦氏に代表される古来からの「秦荘」の地名を残したい。郡の名称が「愛知」なので、町は「秦荘」にすることにより調和のとれる名称。